

## アジサイ斑点細菌病に対する有機銅水和剤の 秋季における予防散布による防除効果

### 研究のねらい

近年、出荷前の鉢物アジサイの葉に奇形や斑点症状を生じる「アジサイ斑点細菌病」が発生し問題となっています。

本病は鉢上げ後、夏から秋にかけて屋外で管理することで感染し、その後に加温ハウス内で管理することで、3～4月頃に発病します。

そのため、屋外で管理する秋季に予防散布し防除する農薬の適用拡大を行いました。その防除薬剤が平成25年に登録失効となりました。

そこで、それに代わる薬剤として、有機銅水和剤の防除効果について検討しました。

### 技術の特徴

#### 1 アジサイ斑点細菌病への効果

有機銅水和剤（商品名：キノンドーフロアブル）500倍をおよそ9月中旬から、約2週間間隔で3回散布することで、本病の被害を軽減することができます（図1、2）。また、本剤は、少～中発生条件下において、これまで基幹防除薬剤であったB水和剤（ビスダイセン水和剤）と比べ、高い効果が得られます（図1）。

#### 2 薬害の有無について

アジサイの生育遅延や葉への奇形など、薬害は発生しませんでした。



写真 葉の症状（左：奇形・斑点、右：水浸症状）

#### 3 利用上の留意点

- (1) ビーナイン顆粒水溶剤（植物成長調整剤）との混用及び近接散布は薬害を起すので避けます。
- (2) 農薬使用の際には、ラベル等の内容を確認してから使用してください。

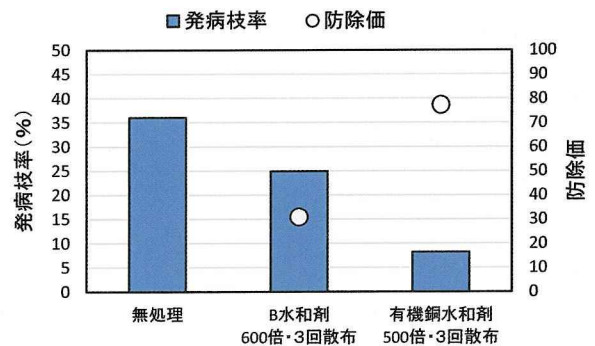


図1 中発生条件（自然発病）における防除効果  
※防除値：(1-処理区の発病枝率/無処理区の発病枝率) × 100

### 今後の取り組み

本情報に加え、本病の耕種的防除について生産者へ情報提供し、本県の高品質な鉢物アジサイ生産に貢献します。

（執筆者：三木 静恵）

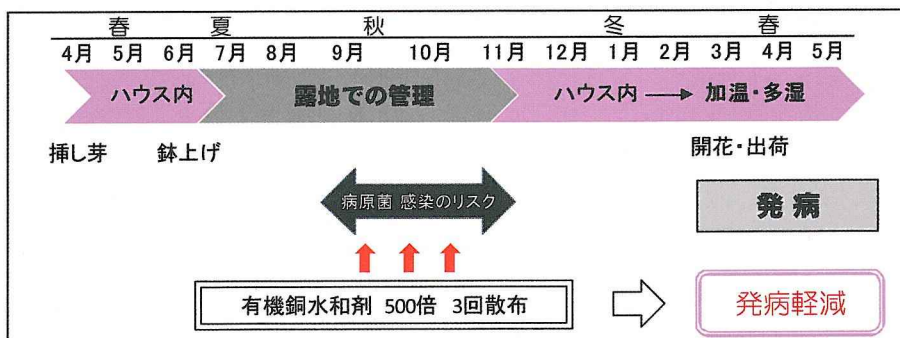


図2 鉢アジサイの管理体系とアジサイ斑点細菌病に対する秋季の予防散布